

## 2021年11月度（第388回）ライフサイエンス分科会

開催日時：2021年11月18日(木) 14:00～16:30

開催場所：Zoom

参加人数：18名

記入者：株式会社サンメディア 前田亜寿香

### 1. 内容

「学術論文のバージョンとプレプリントをめぐる動向」

講師：国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター

特任研究員 尾城孝一様

#### 講演内容

- ① 自己紹介
- ② 学術論文のバージョンをめぐる動向
  - ・ NISO/ALPSP が定義するバージョン
  - ・ 出版プロセスとバージョン
  - ・ VoR をめぐる論争（出版社 vs 学術コミュニティ）（cOAlition S と出版社の主張・
  - ・ VoR とプレプリントの比較
  - ・ VoR (Version of Record) から RoV (Record of Versions) へ
- ③ プレプリントをめぐる動向
  - ・ プレプリントとプレプリントサービスの歴史（研究者にとっての利点・出版社と学術雑誌のポリシーの変化）
  - ・ プレプリントとプレプリントサービスに関するデータ（年別プレプリント投稿数推移・プレプリントサービス別投稿数・COVID-19 関連論文のプレプリント割合）
  - ・ プレプリントの新たな風景（オーバーレイジャーナル・COAR の Pubfair・University Journals・F1000Research）
  - ・ プレプリントおよびプレプリントサービスの課題（質保証・財政問題）
  - ・ 出版社とプレプリント（Springer Nature 社・Elsevier 社・Wiley 社）
  - ・ データベースとプレプリント（NIH・Scopus・Dimensions）
- ④ 学術雑誌の解体と再構築？

以下のような質疑応答があった。

Q1:プレプリント版と出版社版の紐づけについて。

プレプリントサーバで公開された論文が、その後査読誌に投稿されて出版社版が出た時、それぞれはどのように紐づくのでしょうか？通常は別の DOI が発生すると思うの

ですが、それらは Crossref や JaLC などの中では紐づけて登録されているのでしょうか？また、同じ DOI でマルチプルレゾリューションのように管理されることもあるのでしょうか？

A1:バージョンごとに異なる DOI を振るのではないのでしょうか。

DOI の関係をメタデータで記述する仕組みが必要なのではないかと考えますが、今はその仕組みや、技術的な合意もできていないのではないのでしょうか。これから解決していかなければならない課題と考えます。

Q2:プレプリントで先取権が確立できるとのことですが、プレプリントで公開後、別の研究者の同じ主旨の論文が査読誌で掲載された場合、そのジャーナルの出版社が、VoR 以外は質が劣るという観点の元、先取権を主張するといった事態が起こったりはしないのでしょうか？

A2:起こりうると思います。

知見やアイデアをプレプリントで発表すればプライオリティが確立されるため、最初にプレプリントで公開しておくことは大事だと考えます。信頼できるタイムスタンプが押されていることが重要なため、今後はタイムスタンプを押すサービスを使っていく必要があると考えます。

Q3: CiNii Articles が CiNii Research に統合されたら有料になると聞いたのですが。

A3: CiNii Research は有料にはならないと思います。

Q4: オーバーレイジャーナルは、誰が査読するのでしょうか？

A4: オーバーレイジャーナルを運営している研究者グループが査読します。

査読に通った論文は査読済み論文として、プレプリントのジャーナルとは区別されません。

Q5: NISO が論文のバージョンを定義しているが、この定義は広く標準化されており、現在ある様々なサービスで標準化されたものとして、すでに利用されていますか？

A.5 現在は、まだ広く利用されているとは言えませんが、これから標準として利用されていくと思います。

2, 次回以降の予定

2021年12月16日(木) 14:00~16:00

【内容】INFOPRO2021 振り返り